

科 目 名	道徳教育の研究【健栄・社福】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	青 木 研 作						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	若者のモラルの低下が社会的に問題視される今日、学校教育における道徳教育への注目が高まっている。そうした現状を踏まえ、本授業では、望ましい道徳教育の在り方やその指導法について考察することをねらいとしている。前半では、道徳教育の諸概念や歴史、文教施策・学習指導要領等を論じ、理論・制度面での理解を促し、後半では、学校における道徳教育実践の事例、指導案の作成方法を紹介し、基礎的な実践力を育成する。						
授 業 の 到 達 目 標	①知識・理解 ・社会における道徳の重要性ならびにその今日の状況を理解する。 ②思考・判断 ・道徳とは何か、道徳教育の意義とは何かといった原理的な点について深く考えることができる。 ③関心・意欲 ・道徳教育に関する理論・歴史・制度について学びとろうとする意欲をもつ。 ④態度 ・先進的な道徳教育の実践事例を参考にしながら、望ましい指導方法の開発に取り組むことができる。 ⑤技能・表現 ・指導案作成のための基礎的な知識や技術を習得する。						
学 習 方 法	基本的には講義形式で進めるが、グループワーク等を通じて、各自がどのように考えたかを発信する機会を可能な限り設ける。						
テキスト及 び参考書等	テキスト：文部科学省『中学校学習指導要領解説 道徳編』日本文教出版。 参考書：適宜紹介する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	○	○		○			10
宿題・授業外レポート		◎		○			10
授業態度							
受講者の発表	○	○	◎	○			5
授業への参加度			◎				5
その他	◎	○					70
	授業内試験						
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	イントロダクション：授業の目的、概要、構成						
第 2 週	現代社会における道徳教育の重要性と困難性						
第 3 週	道徳思想の歴史的展開：西洋を中心に						
第 4 週	道徳哲学的諸問題：主観主義、相対主義、利己主義						
第 5 週	道徳性の発達理論（１）：フロイト、ピアジェ						
第 6 週	道徳性の発達理論（２）：コールバーグ						
第 7 週	日本における道徳教育の歴史（１）：第二次世界大戦以前						
第 8 週	日本における道徳教育の歴史（２）：第二次世界大戦後						
第 9 週	学習指導要領・道徳（１）：目標と内容						
第 10 週	学習指導要領・道徳（２）：道徳の指導計画						
第 11 週	学習指導要領・道徳（３）：道徳の時間の指導計画						
第 12 週	道徳の時間の指導案の作成（１）：主題設定・資料選択の考え方						
第 13 週	道徳の時間の指導案の作成（２）：学習指導過程の考え方						
第 14 週	道徳授業の実践事例						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	【授業外学習（事前学習・事後学習）】 学習指導案を作成してもらおう。また、授業の終わりに課題を課す場合があるので、その際は、次回の授業時までには回答を用意しておくこと。						